

木頭小学校で河川環境学習を開催しました。

木頭小学校3・4年生の児童を対象に、「汚水のお話」では、自分達が普段どのくらい水を使用しているか、また汚水処理施設のことや汚水がきれいになるしくみ等について学びました。「川を学ぼう」では、川と人との関わりや具体的な取り組みについて学習しました。最後に身近な川の水や生活排水の水質検査、透視度検査を体験し、水をきれいにする事の大切さを学びました。

【実施概要】

日時：平成23年9月27日（火） 10：45～12：20

場所：木頭小学校 講堂

参加者：木頭小学校 3・4年生 13名
徳島県 南部総合県民局那賀庁舎 2名
徳島県 下水環境課 2名
フジタ建設コンサルタント 3名

内容：1 汚水のお話 徳島県 下水環境課
2 川を学ぼう 徳島県 南部総合県民局那賀庁舎
3 水の汚れの原因（水質実験 パックテスト） フジタ建設コンサルタント

感想：私たちが使った汚れた水を小さな生き物がきれいにしてくれていることに驚きました。一人が一日に使う水の量が多かったので、大切に使いながら川に戻したいと思いました。また、川に住む生物のためにも、人の生活のためにも川を汚さないように、自分で出来ることをしてきれいな水の川であってほしいと思いました。

【活動状況】

○汚水のお話

木頭の水道は那賀川から取水され、汚水処理場で処理され、また那賀川に戻っていくという話を聞き、実際に汚水処理施設で処理される前の水と処理された水を見比べました。



徳島県は水を使う量が多いこと、那賀町では一日に 25mプール 10 杯分の汚水を出していることや、汚水処理場には 2 種類あるという話を聞き、本物の汚水管を見て、汚水がどのように処理場まで流れていくのかを学びました。また、水をきれいにしてくれる微生物のことを学習したり、マンホールのふたが何故丸いのかを模型を使って体験しました。



休憩時には、机の上に並べられた汚水のサンプルや汚泥で作ったブロックなどを、説明を受けながら興味深く見ていました。



○川を学ぼう

那賀川にすむ生き物や、人にやさしい川づくりの話を知りました。

また、川の水を安全に流すための取り組みや川の水位をインターネットで見られることを学びました。



○水の汚れの原因（パックテストによる水質実験と透視度測定）

水の汚れを調べる方法として、パックテスト(COD)測定と透視度測定があり、その検査の仕方の説明を受け、少し緊張しながらも熱心に全員で参加しました。



パックテストでは、那賀川の水と、那賀川の水に6種類の食材をそれぞれ入れて生活排水を作り、水質検査をしました。最も水を汚す食材の予想では、焼肉のタレが一番手が多く挙がりました。

測定の結果は、那賀川の水 5 牛乳 20 コーンスープ 20 米のとぎ汁 10
しょうゆ 20 ラーメンのスープ 10 焼肉のタレ 100 となりました。

予想通りでしたが、100という数値に驚いた声が出ていました。



透視度測定では、那賀川と吉野川の水の比較をしました。

測定結果は、那賀川 130cm 吉野川 73～82cm でした。那賀川の水が澄んでいることが実感できました。



まとめとして、きれいな川の水を守るために自分たちでできること、学習で知ったことをまわりの人に伝えていくことが大切だということを学びました。